

2025 年 10 月 7 日
SCSK株式会社

SCSK、クラウドネイティブ支援サービス「NebulaShift」を 国産プライベートクラウド「USiZE」で提供開始

～エンタープライズに求められるセキュリティと、クラウドネイティブ開発の俊敏性を両立～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、2025 年 10 月、企業のクラウドネイティブ化を加速する包括的な支援サービス「NebulaShift(ネビュラシフト)」に、自社が提供する堅牢な国産プライベートクラウドサービス「USiZE(ユーサイズ)」を実行プラットフォームとして新たに加え、提供を開始します。これにより、企業が求めるクラウドネイティブ開発の俊敏性と USiZE が提供する高い信頼性、セキュリティ、データ主権を両立させ、企業の DX 推進を強力に支援します。



1. 背景

ビジネス環境が急速に変化するなか、企業はクラウドやコンテナを活用したクラウドネイティブなアプリケーション開発を進め、システムの構成の柔軟性や調達の俊敏性を追求しています。このアプローチは、オンプレミス環境においてもクラウドネイティブの要素を取り入れる「New オンプレミス※1」が注目されるなど、システム稼働環境を問わず、俊敏性の高い開発手法へのニーズが高まっていることを示しています。また、パブリッククラウドの利用にデータ主権や保護の観点から依然として懸念を抱える企業も少なくありません。

SCSKはこのニーズに応えるため、エンタープライズ向けクラウドネイティブオフアリング「NebulaShift」を堅牢な国産プライベートクラウド「USiZE」上で提供開始します。

※1 ガートナーが提唱した用語で、クラウド・ネイティブの要素を取り入れた新しいオンプレミスのことと定義されています。

参照 URL: <https://www.gartner.co.jp/ja/articles/on-premises>

2. NebulaShift と USiZE について

NebulaShift は、お客様のクラウドネイティブ化を推進する、当社のエンタープライズ向けクラウドネイティブオファリングです。Red Hat OpenShift を中核に、SCSKが長年培ってきたテクノロジーやノウハウを活用し、多様な専門性を持つパートナー企業と協力することにより、コンテナ化の企画・設計から、開発の内製化支援、CI/CD 環境構築、その後の運用まで、お客様のクラウドネイティブジャーニー※2 をトータルでサポートします。

一方、USiZE は、仮想マシンベースのコンピューティングリソースと運用サービスをSCSKが提供する国産のプライベートクラウドサービスです。高い信頼性と安定性が求められる基幹系システムなどでの採用実績も豊富で、堅牢な国内データセンターで運用されることで、企業の重要な IT インフラを支えています。

今回、NebulaShift の実行プラットフォームとして USiZE が加わることで、クラウドネイティブ開発のメリットを最大限に享受しながら、企業の厳しいセキュリティやコンプライアンス要件にも対応できる、最適なハイブリッドクラウド環境を提供できるようになります。

※2 クラウドネイティブ技術の導入から定着までの道のりを指す。

3. 本サービス拡充によるメリット

今回の連携により、お客様は NebulaShift の実行基盤として USiZE を選択することで、以下の国産プライベートクラウドならではのメリットを享受しながら、クラウドネイティブなコンテナ環境をご利用できます。

1. 費用の柔軟性(月額従量課金):USiZE は、仮想マシン台数に基づいたシンプルな月額従量課金体系を採用しています。パブリッククラウドで発生しがちなアクセス数やトラフィック量に応じたネットワーク費用がないため、コストの予実管理や見積もりが容易となり、費用適正化に貢献します。
2. 柔軟な契約と迅速な構成変更:USiZE は、オンプレミス環境で必要とされる機器調達の手間や数ヶ月に及ぶリードタイムを不要にします。さらに、最短 1 ヶ月からの契約が可能で、契約期間の縛りもありません。これにより、初期投資を大幅に抑え、例えば通常数ヶ月かかるオンプレミス導入と比較して、期間短縮とコスト削減を実現します。必要な期間だけ利用する柔軟な運用や、コンテナ基盤の迅速な構築・性能拡張・容量変更を容易に行えます。
3. ソブリン・クラウド(データ主権の確保):USiZE は、強固でセキュアな国内データセンターで稼働し、国内企業であるSCSKが運営する国産プライベートクラウドです。ソブリン・クラウドとしての特性により、情報セキュリティや法令順守を担保するだけでなく、米国 CLOUD 法※3 をはじめとする他国法令の影響を排除し、データ主権を確実に確保できます。企業の重要なデータ保護とコンプライアンスへの対応を強力に支援します。

※3 米国 CLOUD 法(Clarifying Lawful Overseas Use of Data Act):2018 年に米国で成立した法律で米国の法執行機関が、通信サービスプロバイダーやクラウドサービスプロバイダーに対し、データがどこに保存されていても、その管理下にあるデータを提出するよう命令できる権限を定めたもの。

4. 今後の展望

SCSKは、NebulaShift と USiZE の連携強化を通じて、お客様のクラウドネイティブジャーニーを推進していきます。今後は、両サービスの連携を一層深め、AI/ML ワークロードへの対応強化や、さらなる自動化機能の拡充、お客様の DX 推進を加速する新たなソリューション開発に取り組んでいきます。また、ハイブリッドクラウド環境における運用の一元化やセキュリティガバナンスの強化など、エンタープライズ顧客の多様なニーズに応える機能拡充を継続的に実施します。SCSKは、多様な専門性を持つパートナーとの協業をさらに強化しながら、お客様のビジネス成長に貢献する最適なクラウドネイティブ環境を提供してまいります。

レッドハット株式会社からのコメント

Red Hat は、Red Hat OpenShift を中核に展開するエンタープライズ向けクラウドネイティブ支援サービス「NebulaShift」が、堅牢な国産プライベートクラウド「USiZE」上で提供開始されたことを心より歓迎いたします。この取り組みは、金融、製造、公共分野をはじめとする幅広い日本のお客様に対し、「クラウドネイティブな開発の俊敏性」と、AI ネイティブな時代に求められる「データ主権・セキュリティ・高信頼性」の両立を可能にし、極めて大きな価値をもたらすものです。本ソリューションにより、基幹系システムに求められる安定性を確保しながら、柔軟かつスピーディなイノベーションの実現が期待されます。レッドハットは、オープンソース技術を活用し、SCSK様との強固なパートナーシップのもと、日本企業の真のデジタルトランスフォーメーション(DX)を共に推進してまいります。

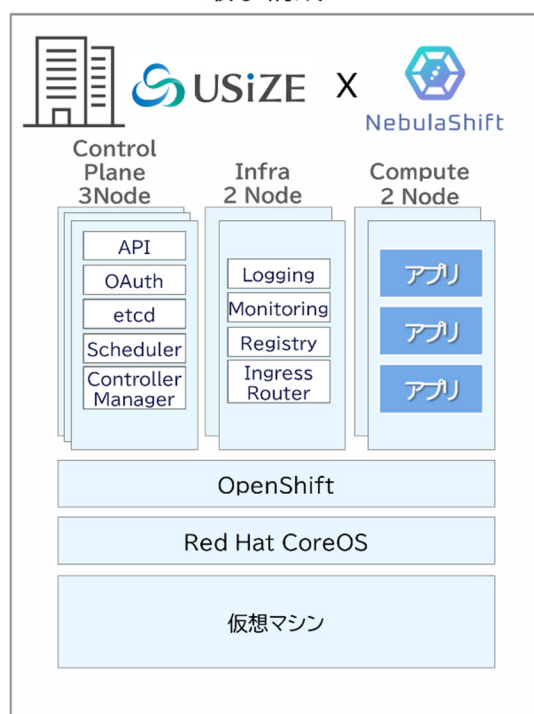
レッドハット株式会社 代表取締役社長 三浦 美穂

5. 価格

初期費用 : 個別見積もり(※ご要望に応じた個別対応も承ります)

月額費用 : ￥1,200,000.～

最小構成



本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ITインフラ・ソフトウェア事業本部 サーバ・ストレージ部 NebulaShift/USiZE 担当

E-mail: NebulaShift-info@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。